

令和5年度 学校評価の結果について

【安全・安心な学校づくり】

重点目標	取組の成果と課題 及び 今後の取組
(1)児童生徒が自ら身を守る力を育むための安全教育の充実を図る。	- 交通安全教室や避難訓練での学習により、適切な行動を身に付けることができた。 - 継続した指導を行いながら、地域の方にも外部講師として協力を仰ぎ、さらに充実したものとなるよう取り組んでいく。
(2)自らの健康管理や体力向上など予防行動の定着を図る。	- 手洗いやうがい、食後の歯磨きなど、自主的に取り組む様子が見られるようになった。 - 指導の様子や児童生徒が実際に行っている様子を保健便り等で保護者の方に周知し、家庭でも実践できるようにしていく。
(3)教職員一人一人が危機管理意識を高く持ち、安全な環境を作り、組織的な対応をする。	- 各種訓練を実施することで教職員の危機管理意識を高め、緊急時における組織的な体制を整えることができた。 - 今年度の反省を踏まえて、各種訓練や職員研修を実施し、引き続き危機管理意識を高めていく。

【主体的に学ぶ授業づくり】

重点目標	取組の成果 及び 今後の課題・改善策
(1)ICTを活用を含む、興味関心を生かした教材教具の工夫を行い、授業の改善に生かす。	- 教職員のICTスキルを高めるために研修や教材の研究を行い、電子黒板やタブレットを使用した授業に生かすことができた。 - 教材教具の活用方法や実践例についての情報共有を行い、外部講師等の活用についても積極的に進めていく。

【地域での学習活動の充実】

重点目標	取組の成果 及び 今後の課題・改善策
(1)地域の人材、学校、団体、自然、施設、イベント等を生かした学習活動を工夫する。	- 校外学習や地域学習を通して、地域の施設を生かした学習活動を行ったり、季節を感じながら地域を散策したりすることができた。 「地域活用シート」の充実を図り、学習活動に活かしていく。
(2)行事や授業の様子など、家庭や地域への情報発信の充実を図る。	- ボランティアの方に行事や配膳に積極的に関わっていただくことができた。また、「ちいき新聞」の発行により情報を発信することができた。 - 普段の授業の中でも関わりをもてる場面を増やしていくとともに、進路情報や学習活動についても、学校の取組を分かりやすく伝えていく。
(3)地域の人に挨拶する態度の育成について、家庭と連携して定着を図る。	- 場面に応じた挨拶の指導を繰り返し行ったことで、自分から挨拶する児童生徒が増えた。 - 児童生徒の実態に応じて挨拶の仕方についての指導方法を工夫していくことで、家庭や地域で挨拶ができるようにしていく。

【全体を通して】

全体的に概ね良い評価が得られ、学校での取組が家庭でも理解されてきていると考えられる。
 今後も現在の重点目標と具体的な取組を継続していきながら、保護者や地域に伝えていく手段や機会などについても引き続き工夫していきたい。